



平成28年度指定 高指第122号

# 立川 善信

生年／昭和30年 指定技術名／銅器・着色



へんけいかざりざら

## 変形飾皿

木の自然な反りを活かした造形が特徴的な銅物の皿には、生地を焼き粗して斑紋を現した後、煮色が施されている。さらにプラチナ箔や漆が施されるなど、その多彩な素材表現には、作者の溢れる創意が凝縮されている。数十トンにもなる寺院用の釣鐘や擬宝珠(ぎぼし)など屋外の大型銅物への着色を生業とする、数少ない伝統的銅器着色職人は、悠久の時の流れの中で、緩やかに変化する経年の美を信条としている。

平成27年作

素材・技法／銅合金、金箔、プラチナ箔、漆・鋳造、煮込着色  
寸法／高さ6cm×幅25cm×奥行25cm

### [表彰・受賞歴]

昭和54年 高岡伝統工芸加工技術展奨励賞  
昭和61年 日本伝統工芸富山展富山県教育委員会賞  
平成元年 伝統工芸日本金工展東京都教育委員会賞  
平成28年 日本伝統工芸士会功労者賞

### [経歴]

昭和51年 立川善太郎氏に師事。また、父立川善二氏、立川善治氏より助言指導を受け、古代色による着色技術を習得し、平成元年に独立。  
平成20年 伝統工芸士認定  
平成20年～ 高岡地域文化財等修理協会会員  
平成23年～ 富山県伝統工芸士会理事、役員  
平成27年～ 高岡銅器伝統工芸士会副会長  
高岡着色組合副理事長  
伝統工芸高岡銅器振興協同組合常務理事  
高岡地域文化財等修理協会正会員  
平成28年 高岡市伝統工芸産業技術保持者指定  
平成29年 高岡銅器伝統工芸士会会長  
平成30年 伝統工芸高岡銅器振興協同組合副理事長  
日本伝統工芸士会幹事  
富山県伝統工芸士会副会長